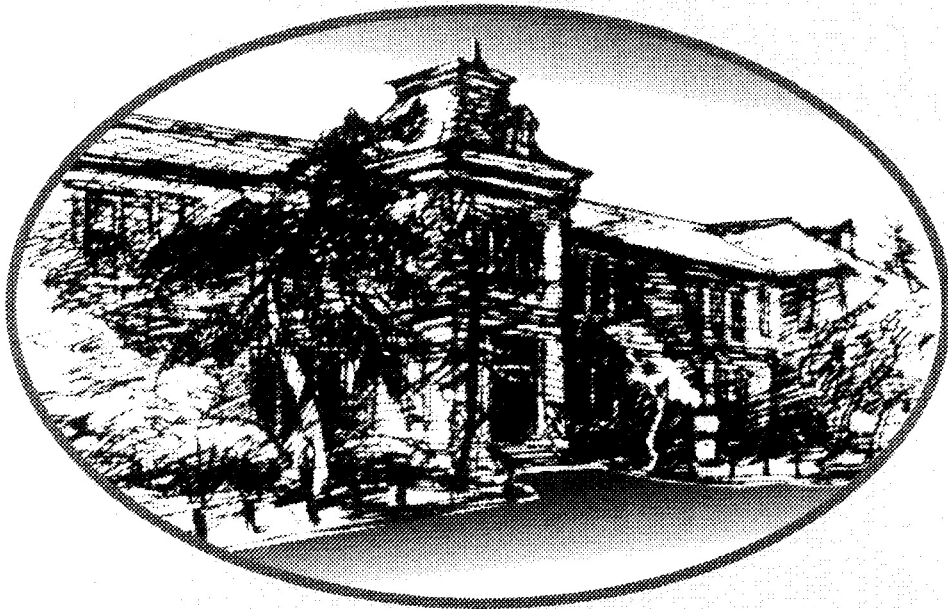


東京秋工会会報

# KANASA

金砂



VOL. 3



東京秋工会

秋田県立秋田工業高等学校同窓会 東京支部

# 目次

■ごあいさつ	東京秋工学会会長 澤木 誠一 (26E)	2
■会務・会計報告		3
■お知らせ・ご報告		4
■特別寄稿		6
●体操競技と私	遠藤 幸雄 (30E)	
■会員寄稿		7
●良寛の修業の寺「円通寺を訪ねる」	佐藤 稔 (22E)	
■連載寄稿(エッセイ)		9
●入試・入学のころ「その一」	笹 渕 茂 (21Y)	
■賛助広告		11
■編集後記		14



秋工正門



東京秋工委会長  
澤木 誠一

●昭和26年 電気科卒●

澤木萬國特許事務所  
所長弁理士

皆様お元気ですか。めっきり秋らしくなって参りました。

東京秋工委会報「金砂」第3号を無事お届けすることができました。会報制作を担当して下さった方々並びに記事の提供や広告掲載で資金協力下さった方々に厚く御礼申し上げます。

皆様既にご承知のように、昨年10月には母校の90周年の式典が秋田で盛大に行なわれましたが、この式典には東京秋工会から私をはじめ約30名が出席いたしました。その節は母校並びに同窓会本部の皆さまに色々とお世話になりました。この紙上をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。この90周年事業では同窓会から母校に屋外シャワーハウスが寄贈されましたが、その建設費用として東京秋工会の皆さまからは多大のご協力を賜わり、誠にありがとうございました。

秋田県の各高等学校の東京同窓会連合会である「秋高連」も今年結成10周年を迎え、7月17日にグランドヒル市ケ谷において祝賀会が開かれました。この会では特別記念講演が行なわれましたが、その講師として我が東京秋工会副会長である遠藤幸雄氏(30E/日大教授、オリンピック体操競技金メダリスト)が選ばれ、大変有意義な話を聞くことができました。この講演により秋田工業の同窓生の素晴らしさが母校の90周年の大典と共に広く内外にアピールできたことは誠に喜ばしい限りです。

先日他校の同窓会幹部に言われました。

「あなたのところの会報では【金砂】という名前を使っていますが、学校の所在地名から取ったそうでピッタリですね。我が校はたいした地名の所でもないし、会報のネーミングに困っています。」

ここでも「金砂健児」の偉力が発揮されていることを痛感いたしました。

今年の東京秋工会総会には、多くの新人が参加されることと思います。我々が秋田工業の素晴らしい伝統と活力を後輩諸君に引き継ぐためには我々同窓会の使命並びに責任は重且つ大なるものがあります。

今後とも皆さまの御指導とボランティア的活動によって、東京秋工会が益々発展するであろうことを期待いたします。

平成7年11月

# 会務・会計報告

## ●会務報告●

平成6年	9月1日	秋高連役員会／澤木会長出席
	9月5日	幹事会／於澤木事務所
	9月9日	東京秋工会総会／於東京プリンスホテル
	9月9日	佐藤忠男先生出版記念会／於東京プリンスホテル
	9月30日	秋田市同窓会本部との合同ゴルフコンペ／澤木会長他23名出席
	10月1日	母校90周年記念式典／澤木会長他25名出席
	11月5日	幹事会／於澤木事務所
	12月2日	秋高連忘年会／澤木会長他有志出席
	12月16日	秋田市東京事務所忘年会／澤木会長出席
平成6年	1月11日	秋田県知事との懇談会／澤木会長他出席
	1月27日	秋田市長との懇談会／澤木会長他出席
	2月19日	秋田県人会総会／澤木会長出席
	2月23日	秋高連役員会／澤木会長出席
	4月5日	秋高連役員会／澤木会長出席
	5月27日	秋工同窓会本部総会／澤木会長出席
	6月3日	秋工東海支部同窓会総会／澤木会長出席
	6月4日	秋工関西支部同窓会総会／澤木会長出席
	6月7日	雄水会(秋田商業同窓会東京支部)総会／澤木会長出席
	6月8日	幹事会／於澤木事務所
	6月16日	秋高連委員会／澤木会長出席
	6月23日	第7回東京秋工会ゴルフコンペ／於取手カントリークラブ
	7月8日	湯沢商高同窓会／澤木会長出席
	7月17日	秋高連全体総会／澤木会長他有志出席
	7月20日	秋田市東京事務所新築祝／澤木会長出席
	9月22日	秋高連委員会／澤木会長出席
	9月29日	幹事会／於澤木事務所

## ●会計報告●

平成6年4月1日～平成7年3月31日

収入の部		支出の部	
* 前年度繰越金	447,384	* 総会費用	712,758
* 年会費 ¥3,000 × 155名	465,000	・ 会場費(東京プリンス)・酒代	
* 総会費 ¥7,000 × 69名(男)	630,000	・ 来賓接待・東京プリンス謝礼 他	
¥3,500 × 2名(女)		* 総会準備費	177,783
* 「KANASAJ」広告料 11件	63,000	・ 総会案内・振込用紙等の印刷費	
* 総会御祝儀・秋田工業高校	10,000	・ ハガキ・切手・封筒・文具 他	
・ 同窓会本部	10,000	* 会報「金砂」制作費	210,000
・ 東京雄水会	10,000	・ 版下代・印刷費(800部) 他	
・ 秋田市東京事務所	10,000	* 交際費	10,000
・ 秋工同窓会東海支部	10,000	・ 東京雄水会総会御祝儀	
・ 保坂氏	30,000	* 諸会費	10,000
・ 村井氏	10,000	・ 平成6年度分秋高連年会費	
* 雑収入・澤木会長	30,000	* 広告費	46,350
・ 幹事有志	15,000	・ 秋工90周年協賛広告(秋田魁新報社)	
* 定期預金利息	1,160	・ 新春挨拶広告(秋田魁新報社)	
		* 会議費・幹事会会食費／3回	73,295
		* 諸雑費	
		・ 振込手数料／年会費,会報広告料	5,630
		※次年度繰越金	495,728
●収入の部合計	1,741,544	●支出の部合計	1,741,544

# お知らせ・ご報告

## ★母校創立90周年式典・祝賀会

昨年の10月1日に、我等が母校の創立90周年の式典と祝賀会が挙行されました。東京秋工会からは澤木会長以下25名が出席し、本部同窓会との親睦をより深めることができました。

前日の嵐が嘘のような晴天の元、式典は母校の体育館で行なわれました。林校長の式辞、学校及び同窓会関係者、在校生等の祝辞とつづき、学校並びに同窓会に功労された方々の表彰の後、校歌を斉唱して式典は終了。同窓会の功労者として澤木会長も表彰を受けています。式典につづいて、林善次郎氏(21E・秋田魁新報社社長)の特別講演「昔と今とこれから」が行なわれましたが、お話しの中に込められた母校への思いに感銘を受けた方が多くおられたように見受けられました。



式典終了後、場所をキャッスルホテルに移し祝賀会が催されました。

実行委員長の挨拶、学校長の謝辞、来賓の祝辞と会は滞りなく進行し、つづいて祝宴に入りPTA会長の乾杯の後、同窓生のアトラクションが行なわれると、全国から馳せ参じた約500名の出席者の熱気で会は一気に盛り上がりを見せていきました。初対面であるとか、旧知の仲であるとかには関係なくわきあいあいと語り合う姿をそこかしこで見受けることができました。

会も押し迫った頃、我が東京秋工会長老の加賀谷銀治氏(2M)が指名により母校の応援歌を歌われ氣勢を上げ、最後には澤木会長と共に万歳を声高らかに三唱し会を締めくくりました。

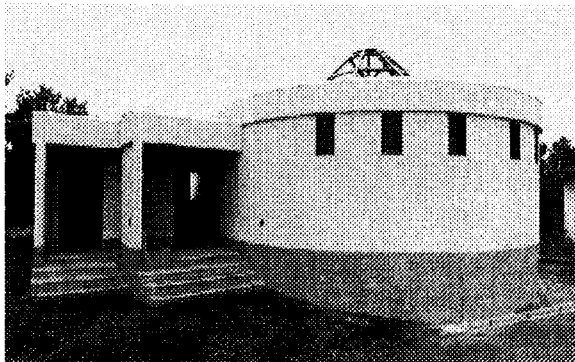
こうして名残り惜しさを感じさせつつ、創立90周年の祝賀会は無事終了いたしました。



## ★屋外シャワーハウス

前号でもお伝えしましたように、今回の創立90周年に際してその記念事業として、同窓会より母校へ屋外シャワーハウスの寄贈が計画されておりましたが、今回の創立90周年記念式典に合わせ既に完成されておりました。

記念式典当日は、屋外シャワーハウスを見学する同窓生の姿を多く見受けました。



## ★嵐の中の合同ゴルフコンペ

創立90周年式典の前日(9月30日)には、本部同窓会と東京秋工会の合同ゴルフコンペが椿台C Cにおいて開催されましたが、当日は台風26号が秋田沖を通過という最悪の天候となりました。

日本航空の第1便で秋田入りする予定の人はやっとのことで飛んだ全日空の便で強風の中秋田入りするなど、一時は開催が危ぶまれましたがそこは金砂健児、悪天候なにをするものぞと強行したのでした。

参加は東京勢17名、秋田勢24名の計43名。東京側は第6回目の東京秋工会ゴルフ会を兼ねてのコンペとなりました。

午後3時頃には台風の影響も感じられなくなり、最終的には非常に思い出深いゴルフコンペになったのではと皆で語り合った位、楽しく過ごすことができました。

合同コンペは秋田勢の鈴木茂氏(26S)が優勝されましたが、鈴木氏は椿台C Cにお勤めとのことで、当然の結果ということになりました。

東京秋工会ゴルフ会の方は、田畑氏(45E)が優勝されました。

表彰式は会場をアキタニューグランドホテルに場所を移して行なわれ、東海林本部同窓会会長、学校長、その他ゴルフに参加されなかった方達も多勢出席され、母校創立90周年式典の前夜祭に相応しい盛り上がりのあるものとなりました。

台風にも負けず頑張ったことで、本部同窓会の皆さんとの交流をより深めることができた、そんな思い出深い有意義な催しができたと確信しています。

## ★ラグビー部、2年ぶり花園へ！

母校ラグビー部が10月11日の秋田県予選決勝で秋田中央高校を47-5の大差で破り、2年ぶり53回目の花園出場を決めました。

秋田魁新聞10月12日付の記事によると、前半に4トライ、2ゴール、1ペナルティゴールで大量27点を上げ前半でほぼ勝負を決めたとのこと。

後半1トライ、1ゴールを許したものの、後半も20点を上げて中央高校を圧倒し、見事県予選を突破したものです。

母校ラグビー部では黒沢監督の指示のもと、昨秋の新チーム結成以来ウェイトトレーニングに時間をさいて、当り負けしない身体づくりをしてきたとのこと。魁の記事の中の、ウェイトトレーニングをやらせたらおそらく日本一だろうとの監督のコメントがありました。

まずベスト4の壁を破りたいとのことですが、ぜひがんばっていただきたいものと思います。また、選手諸君には悔いの残らない戦いをしてきて欲しいものと考えます。

今年は物足りない正月を過ごさないですむとお思いになる会員の方が大勢いらっしゃることでしょう。

秋田工業 (27 - 0)  
秋田中央 (20 - 5)



## ★秋工ラグビー部創部70周年

2年ぶりに花園出定を決めた母校ラグビー部は今年創部70周年となります。

残念ながら詳しくお伝えできるほどの情報はありませんが、ご寄付を目的とした記念ネクタイが販売されています。そういったものがあるのならぜひ欲しいという方は、11月17日の東京秋工総会で確認できるものと思いますので、総会にぜひご参加ください。

## ★第7回東京秋工会ゴルフ会

第6回の東京秋工会ゴルフ会は、前頁でご紹介したように、秋田椿台CCにおいて台風という悪条件にもめげず本部同窓会との合同コンペという形で行なわれましたが、本年(平成7年)に入り、第7回のゴルフ会が6月23日茨城ゴルフ倶楽部で行なわれました。

前回ほどひどい条件ではありませんでしたが、またまた雨の中でのコンペとなり、秋工会のゴルフ会には雨男が多勢いるのではないかと冗談も飛びだしていました。

今回は高橋正司氏(31M)が優勝されています。ところで高橋氏をはじめとする31M(MB)卒業の方たちは毎回多勢ゴルフ会に参加されており、その集まりの良さにはいつも感心させられています。こうした友情を見せていただくことができるのも同窓会ゆえかとうれしく思う次第です。

次回(第8回)のゴルフ会は、11月17日に予定されています。残念ながらこの会報がお手元に届くころには定員いっぱいになっていることと思いますが、年2回のペースで続けていきますのでご希望の方はご連絡くださいますようお願いいたします。

東京秋工会ゴルフ会連絡先

担当幹事/三平俊悦(39A)

TEL: 044-852-0891

## ★幹事長バトンタッチ

昨年の総会に出席された皆様は既にご存じのことと思いますが、谷藤前会長以来の長い期間東京秋工会の幹事長を務めてこられた齋藤右二郎氏(26M)は、平成6年度より秋工会副会長となられました。

齋藤氏の幹事長としての秋工会における幹事長としての功績はここで今更言うまでもありませんが、澤木会長と同期であることもあり、秋工会の両輪として活動されてきたその実績には頭が下がる思いです。

齋藤氏としては後輩を育てる意味合いもあったかと思われまふ。とにかく幹事長職のバトンタッチがされました。

後任の幹事長には三平俊悦氏(39A)が就任されています。三平氏はゴルフ会を企画し運営するなど既に皆様にはお馴染みの方ですが、色々ご苦労があるかと思いますが、頑張っていたいただきたく思います。また皆様のご協力もいただきたく思いますので、宜しく願いいたします。



三平俊悦 (39A)

## 体操競技と私

遠藤 幸雄

●東京秋工会副会長●  
昭和30年電気科卒

・日大教授・(財)日本体操協会副会長  
・ローマ, 東京, メキシコ五輪金メダリスト

クラス担任からの勧誘で「け上がり」もできない体操部員が誕生したのは、久保田中学(当時)2年のときでした。一級上には小野清子(旧姓:大泉, 現参議院議員)さんがおり、すでに懸命に汗を流していました。

高校受験に際し受験校に迷うことはありませんでした。なぜなら、伝統ある体操競技部の存在、さらには卒業後の就職という点で秋田工業高校以外考えられなかったからです。

高校時代の思い出、それは3年(昭29)のとき、竣工なった体育館で好ライバル能代高校を破ったこと、インターハイで団体ならびに個人総合で準優勝したこと等、競技力の上では大きな比重を占めています。しかし、個人的には1年のとき、インターハイ(京都)に個人として出場できたこと、何しろ県外旅行が初めてゆえ、京都へ行ける喜びの方が大きかったと思います。

手の平の痛かったことも忘れられません。中学とは異なり、あん馬、つり輪、平行棒が加わったせいでしょう、特に合宿中は忍の一字でした。しかし、おかげで大学時代その痛さに苦労した記憶はありません。

大学時代は大学選手権の団体で2回の優勝を経験していますが、個人総合は5位が最高でした。その後ローマ(1960)、東京(1964)、メキシコ(1968)と3回のオリンピックに出場し、常に勝者になりえたことは幸運の一語といえます。日本代表の座の獲得には小野 喬さんの存在が大きかったと思います。すなわち、私にとり身近な、しかも確かな目標だったからに他なりません。

現在、(財)日本体操協会にあって小野 喬さんと共に日本(体操)再建の実現に努力していますが、いまあるは秋田で生を得たという明白な原点を大切にしたいものです。

平成7年10月14日

### 遠藤先輩のこと……

遠藤先輩から原稿を送るぞとの電話を頂いたのは、10月14日のことでした。昨年の暮頃から寄稿のお願いを口頭でおきながら、遠藤先輩に言われていたどういった内容が欲しいのか指示しろという事項を忙しさにかまけずと送れずにいて、やっと郵送でお願い事項をお送りしたのが10月になってから。鯖江の国際大会でお忙しいはずの遠藤先輩ですから、今号は当然無理だしあきらめようと思っていましたから、その電話を頂いた時は嬉しいやら何やらで、感激してしまった次第です。秋工の諸先輩達には自分がその後輩であることを誇りに思える方がたくさんいらっしゃいますが、改めて遠藤先輩の後輩であることを嬉しくそして誇りに思えました。遠藤先輩本当にありがとうございました。(松木)

## 良寛修業の寺 「円通寺を訪ねる」

佐藤 稔

昭和22年電気科卒  
新潟ハイウェイサービス(株) 代表取締役

先般爽やかな秋晴れの中、岡山県(備中)玉島(倉敷市)の円通寺を見学した。この地は良寛様修業の寺として有名である。

この白華山にある円通寺からは、瀬戸内海を一望できる。また由緒ある源平合戦のあった高梁川下流に架橋された「水玉ハイウェイ」の源平大橋を見ながら、その向こうに瀬戸内海に浮かぶ数々の島を美しく見渡せる。

ここは倉敷市の円通寺講演の一幕として名所旧跡にあてられている景勝地である。

円通寺は僧行基の開創と伝えられている。本尊は、行基作の聖観音様である。霊験あらたかで、星浦観音とも称せられている。

元禄十一年(1698)加賀の国金沢の名刹大乘寺の住職であった高僧徳翁良高和尚が補院洛山(白華山)円通庵(1714年「円通寺」と改称)として再興されたものである。そのとき良高和尚は、この地は正に天下の景勝地なりと感嘆している書物が残されている。

良高和尚の徳風は、備中松山藩主水谷公の帰依するところとなり、その家臣鶴見蔵人を中心に、庄屋、村民らによって、漸次清堂を造営して、禅門の修業道場としての偉容を整えていった。

円通寺の第十世は大忍国仙和尚であって、良寛さまに代表されるような、約三十人の俊才の育成に専念した。禅門帰家としての面目を誇示するとともに、寺格を最高の常恒地に昇格せしめた。また、伽藍の再興など寺門興隆の基礎を確立したのが国仙和尚である。

新潟県(越後)の日本海に面している出雲崎の光照寺の玄乗破了は、国仙和尚が武蔵(都下町田市)の大乘寺時代の佐嗣であった。安永八年(1779)晋山江湖会の際、国仙和尚を西堂として招待した。そのとき、良寛さまは国仙和尚の直弟子となり、正式の出家得度し、国仙和尚に随待して円通寺に安居した。

その後寛政七年(1795)年頃までの十数年間良寛さまは修業したのである。

円通寺境内には、立派な良寛詩碑がある。これを紹介しよう。

「円通寺に来たりてより

幾春冬なるかを 知らず

門前千家の呂 更に一人を知らず

衣垢つけば 手みずから洗い

食尽くれば 城門に出ず

かつて 高僧伝を読む

僧は 清貧を可とすべし」

円通寺における良寛さまは朝は誰よりも早く起き、作務につとめ、衆に先んじて坐禅をやり、夜は遅くまで先徳の書を読んだ。寝食を忘れ、忘若勉勵して、打坐のかたわら「心法眼義」に没頭した。仏教学の深奥を極め、名僧になることが目的であったようだ。寸暇を惜しんで読書をした。

円通寺修業当時の托鉢姿の若き良寛像があり、その立像の傍らの石碑には、師の国仙から取可の詩偈を記したものがあ

「良や愚の如く道うたた安くし

臆 〃 何運誰か看るを得ん

為に附す 山形爛藤の杖

刮る心 壁間午睡の閑」

「良は一見愚かのように見えるが、実はそうではない。辿りついた悟境は深く広い。誰もがお前のすばらしさに気づいていないのだ。取可の印として山から切ったこの杖を与えよう。明日から旅に出てよい。悟りの境地はどこにでもあるのだ。」の意

良寛さまが上の偈を授けられた後に、境内の一角に「党樹庵」を与えられた。現在は焼失



(明治の頃)してないが、その後には大木の良寛椿があり、その傍らに良寛さまの辞世の歌が刻まれている石碑がある。

「形見とて 何かのこさむ  
春は花 夏ほととぎす  
秋は もみじ葉」

さらに良寛句碑として

「うらを見せ おもてを見せて  
ちる もみじ」

たまたま昭和十一年に、かねて良寛さまを教慕していた種田山頭火(明治15年~昭和15年)が立ち寄り、

「岩のよろしさも

良寛様のおもいで」

と詠んでいる石碑もある。

この玉島では聖僧良寛さまとして、白華山の頂上には「童と良寛」という大きな石像がある。台石は入船をかたどり、四国庵治石を使用した二メートル全の良寛さまと子供(童)二人が、人形作家平田郷陽氏の原形によって据えられている。

尚、「童と良寛」の文字は、良寛さまの筆跡により台石に刻まれている。

「霞立つ ながき春日を 子供らと  
手まりつきつつ この日くらしつ」

の歌碑が、子供を愛した良寛さまの人間的情感が込められている。

「良寛さん さくらんぼうが  
うれました」 古杏

この方は谷口古杏(本名:久吉)氏で、岡山県文化賞を受賞されている俳人(昭和四十三年八十才没)の句碑などがあるように、ここの「玉島文化協会」の究極の目的は、「良寛さまの心を知ること」であるといい、非常に心強く感じたものである。

そのほか境内の一部には、西国一番から三十三番までの地藏尊などがある。

良寛さまは、

「円通寺にいたときは、いつもひとりぼっちでした。

廊之・老廬を偲び 柴を運び 碓をふんだ。

朝は、衆に先んじて参禅し、

夕は、師を訪ねて教えをきいた。

円通寺をはなれてから

三十年もたってしまったが

海山遠くはなれていることとて

師の消息を知る由もありませんが

あのときの師恩をもって

涙ぐんでおります

さらさらと流れる水にことよせて」

と、詩を詠んでいます。



## 入試・入学のころ

●その1●

笹 瀨 茂

(21Y)

### 入学試験(1)

入学試験当日は快晴。風もなく穏やかな日和だった。太平洋戦争まっただ中の当時は、出身校から提出された内申書と入試時の口頭試問、それに身体検査などで入学の合否を決めていた。

口頭試問の部屋にはいると、三人の先生が机の上の書類を前に座っていた。

「笹瀨君ですね」

「はい、そうです」

一通りの常識問題の問答があったのち、頭部がやや薄くなった、三人の中で一番偉そうな先生から数学の問題が出された。

「船川から秋田までの距離を仮に四十キロメートルとしよう。さて、時速二百キロメートルの飛行機がこの間を飛んだとしたら、何時間かかるか」というような問題だった。

何分ではなく、“何時間かかる”に、設問に対する答えのポイントがあったように思う。

この先生が科長先生で、わたしたちが三年生になつたときの担任になられる方だ、と聞かされたのは入学してまもなくのことだった。

体操のテストは、校舎の北側に位置した離れの武道館で行なわれた。試験官はT先生。それにまもなく二年生になる体操部の先輩が助手として就いていた。

テストは一組十名で実施された。試験に先立ち先生から説明があった。

「この先輩のとおりのことをやるように」

初めに先輩のあとについて走った。武道館を十周ほど走ったところで先生から突然

「生まれ！」

の号令がかかった。そして

「そのままの状態でもその場を動かぬように」

とのことだった。

わたしなど、船川の学校で体を鍛えていたので、この程度の運動はどうということもなかった。しかし、一人肥満の受験生にはかなりきつかったようだ。ハアハアいっているその生徒に先生が、つかつかと寄って、大きな

声で叫んだ。

「オメ！コエベ！」

入試本番のさ中に、こういう発言をすることは、驚いた先生もいるもんだ。と、そのときは思った。

声をかけられた受験生は、精いっぱい態度で答えた。

「いいえ、なにもコエぐありません！」

次に鉄棒でのテストが待っていた。蹴上がり、しり上がり……。

数種類の模範演技を先輩が示したのち、この中のどれでもよいからそれをやるようにとの先生からの指示。

今ならこの学校にでもある鉄棒。しかし、鉄棒は生まれて初めて、という受験生もいた。

わたしの番が来た。模範演技の中で、いちばんむずかしい蹴上がりを難なくやってのけたそのとき、またまた先生が叫んだ。

「オメ、船川だべ！」

当時、わたしの母校である船川第一尋常高等小学校は、「体操」で全県にその名が知られていた。T先生も、わたしの母校の名を知っていたのだ。

その瞬間わたしは思った。他の受験科目はともかく、この体操は満点に違いない。そう確信したのだった。

「オメ、船川だべ！」

この発言はわたしにとって、ほんとうにうれしかった。このときからT先生はわたしの身近な人、に感じられるようになった。

## 入学試験(2)

当時の秋田工業の先生には際立った個性の持ち主が多かった。また、ほとんどの先生にあだ名がついていて、生徒間では、そのあだ名で呼び合っていた。

身体検査は入学試験も最終段階あたりで実施された。

身長、体重、視力検査と進み、聴力検査の部屋に移った。そこには声はややかすれているものの、小柄で元気のいい先生がいた。英語のF先生とわかったのは入学してから。「諸君、わたしの説明をよく聞きたまえ。まず、両目を閉じ、両手を水平に挙げよ。ここに懐中時計がある。諸君の後ろのほうでこの音を聞かせるから、聞こえた時点で、聞こえたほうの手を降ろし、同時に『左(または右)のほうから聞こえます』と大きな声ではっきりと言いなさい」

何人かの検査が進んだころ、先生がズボンから銀貨を二枚取りだした。そして次なる受験者の耳元に二枚の銀貨をかちかちさせながら近づけていった。

「右のほうから時計の音が聞こえマース」  
「なに、時計だと。目を開けてよく見たまえ」  
彼は偏屈先生の一人だった。あだ名はティーチャー。授業には、いつもメートルほどのムチを持っての登壇だった。教壇に上がるや否や、「このムチの届くとオーころは、ばァーくげき範囲であるゥー」

と、異様な声を出しながらムチを振り回す。そして、最前列の机に座っている数人の生徒の頭に、無差別にムチの“爆弾”を落とすのだ。いわれのない爆弾を落とされた生徒にしてみればまったく迷惑な話。それもかなり強烈な爆弾なのだから。

昔は、こういう勇ましい先生もいたのだ。現在の高校と比較して、その教師と生徒との関係。想像できる？

入学間もなくのことだった。先輩から突然急用を申しつけられた。それは先生とあだ名との関係が、ようやくわかりかけたころ。

「笹淵、キャラメルのところへ行ってきてくれ」

用件の内容は、忘れてしまったが、キャラ

メルとはわたしたちの科長先生のことだ。キャラメルというあだ名とその先生の顔とは幸いにも、わたしの頭に完全にインプットされていた。

先輩から「すぐ行けといわれたことから、駆け足で教員室にゆき、ドアをロックした。

「入ってよろしい！」  
先生のどなたの声かは知らないが、室内から入室の許可が出された。

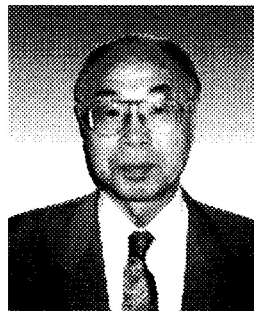
「冶金科一年の笹淵です。入ります！」  
続いて、「キャ」まで声を出したもののハツとした。

肝心の科長先生の本名がまだわからないのに気がついたのだった。

「キャラメルに用事があって参りました」  
そう言おうとして、「キャ」で止めたのだ。

恥ずかしいやら、情けないやら。  
「帰ります！」

用向きを説明するどころではなかった。いっときも早くその場から逃げ出したい気持ちが先立っていた。



### 作者紹介

笹淵 茂

東京秋工会副会長  
昭和21年7冶金科卒業  
首都圏男鹿の会副会長  
現在埼玉県戸田市在住

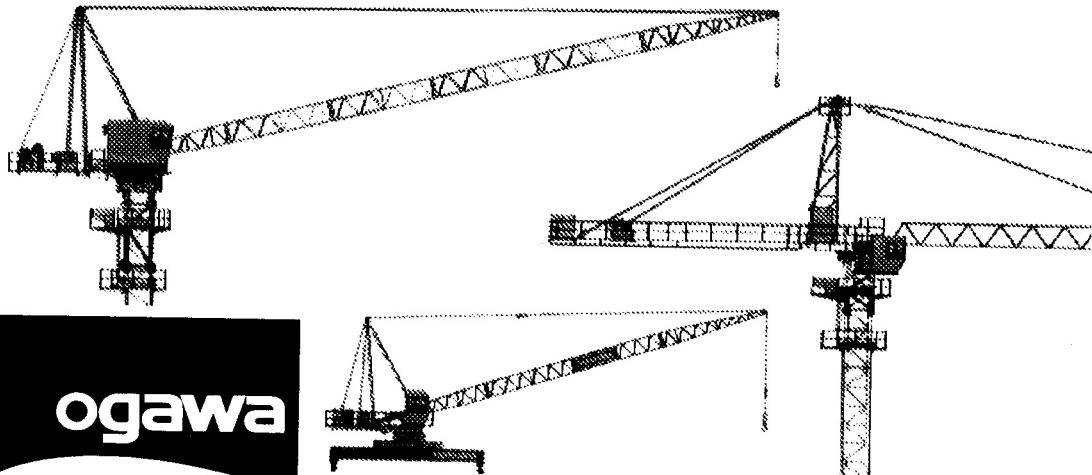
### 笹淵先輩のこと……

本紙では既にお馴染みの笹淵先輩。5年前に総会案内にエッセイを寄稿して頂いて以来連続で寄稿していただいております。仕事面では既にリタイアされていらっしゃるとはいえ、あちらこちらの会へ呼ばれておられるなどで多忙な中いつも快く書いていただいております。

秋田弁を効果的に使いそしてどこか懐かしい臭いを感じさせる軽妙な文章には笹淵先輩の人柄がストレートに著されているのだと思います。

さて、今回の「入試 入学のころ」は、四部構成となっているのですが、紙面構成の都合で全部を掲載することができませんでした。残りは次回の掲載ということにさせていただきます。

## タワークレーンの ogawa



**ogawa**

株式会社小川製作所 代表取締役専務 川端 (林) 邦夫  
 小川リース株式会社 代表取締役社長 (昭31 機械科卒)

本社 / 千葉県松戸市松戸新田 435-13 小川ビル TEL: 0473-65-3211(代) FAX: 0473-65-3273  
 工場 / 千葉県印旛郡白井町名内 330 第2白井工業団地内 TEL: 0474-97-0765 FAX: 0474-97-1039

合板型 枠材・合板足場材  
 断熱材 新建材・一般建築材  
 納材問屋

### 窪谷木材株式会社

代表取締役社長  
**窪谷 政二郎**  
 (昭21 建築科卒)

〒120 東京都足立区千住仲町 14-2  
 TEL: 03-3888-1155(代)  
 FAX: 03-3888-1145

■産業機械設計製作一式■

### 株式会社明和機械

本社: 東京都千代田区神田佐久間町 3-21 山崎ビル 3F  
 TEL: 03-3866-4448/5734 FAX: 03-3866-0772

取締役会長

**佐藤 啓二** (昭25 機械科卒)

代表取締役社長

### 株式会社フードさつき

本社: 東京都江東区扇橋 3-23-5  
 TEL: 03-3866-4448 FAX: 03-3866-0772  
 ・江東店第1,第2・荒川店・足立店

### NFEの粉粒体機器

- ロータリーバルブ ● スライドゲートバルブ ●
- シングルフラップダンパー ● ダブルダンパー ●
- 二方切換弁 ● パタフライダンパー ●
- スクリューコンベア ● パウコンフィーダー ●
- その他粉粒体用特殊機器 ●



### ニッパウエーヴリアリシグ株式会社

本社: 〒101 東京都千代田区神田美倉町 12 MH-KIYAビル  
 TEL: 03-3252-4871 FAX: 03-3252-4896  
 代表取締役 **三浦 洋介** (昭34 機械科卒)

### きらめく光の演出

### 鳥海工業株式会社

◀照明器具のデザイン・設計・製作・販売・施工・管理  
 ネオンサインの製作・施工・管理

代表取締役 **小松 健** (昭37 機械科卒)

〒121 東京都足立区六町 3-6-16  
 TEL: 03-3850-3874 FAX: 03-3858-2200

# 澤木萬國特許事務所

内外国への特許，実用新案，意匠，商標出願  
侵害事件についての相談・鑑定・調査

所長兼理士 澤木 誠一  
(昭26 電気科卒)  
兼理士 澤木 紀一

〒105 東京都港区虎ノ門1-18-1 第10森ビル 8F  
TEL: 03-3501-0937 (代)  
FAX: 03-3595-0059

## 豊富な総合技術で明日をめざす

### ■ 営業品目 ■

- 橋梁
- 建築鉄骨、鉄構構造物
- 塔、槽類及圧力容器
- 荷役機械、運搬設備
- 鉱山、製錬機械
- 土木、建設機械
- 公害防止機器
- 省力化、自動化機器
- 各種プラント
- 鋳鋼品、タクトイル鋳鉄
- アルミニウム合金鋳物
- 立体格納設備(バス・ドラック用)



## 株式会社 東北機械製作所

本 社 / 秋田市茨島1-2-3 〒010 TEL: 0188-62-5541 (代)

鉄構機械事業部 / 秋田市茨島1-2-3 〒010 TEL: 0188-62-5541 (代)  
(茨島工場) FAX: 0188-62-5626

マテリアル事業部 / 秋田市田尻若葉町6-1 〒010 TEL: 0188-62-5271 (代)  
(新川工場) FAX: 0188-62-5295

向 浜 工 場 / 秋田向浜1-3-1 〒010-16  
(大型物組立)

東 京 支 社 / 東京都千代田区丸ノ内1-9-1 鉄道会館9F 〒100  
TEL: 03-3216-3951 (代)  
担当: 佐々木 昭夫 (昭25 機械科卒) FAX: 03-3287-0869

青 森 営 業 所 / 青森県青森市長島2-10-4 新藤ビル別館3F 〒030  
TEL: 0177-22-5599  
FAX: 0177-22-5599

取締役社長 佐藤 鈴男 (昭30 採鉱科卒)  
専務取締役 村上 通郎 (昭26 冶金科卒)  
※秋工同窓会東北機械支部長

時代が求める業務を  
トータルに展開しています。



## バブ日立工業株式会社

### 事業概要

電子機器部門 各種電子機器、装置の設計、製作、調整、工事等。  
技術調査部門 各種プラント等の組成分析、物性測定及び材料調査、試験。  
プリント部門 複写、印刷に関する企画から製作までの総合業務。  
特殊加工部門 同工場の設備を応用した各種特殊加工、製作。  
そ の 他 各種工事及びバブコック日立グループ各社などの製品販売。

本 社 〒737 広島県広島市宮野5-3 TEL: 0823-21-3353 (代)  
東京営業所 〒100 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビルバブコック日立(株)内  
TEL: 03-3270-7437 FAX: 03-3242-0566

東京営業所付技師長 佐々木 武 (昭29 機械科卒)



遠隔監視制御装置 道路情報装置  
計 測 器 端 末 機 器

## コウヨウシステム株式会社

代表取締役 高橋 陽之助 (昭31 冶金科卒)

〒251 神奈川県藤沢市辻堂西海岸1-7-22  
TEL: 0466-36-5501  
FAX: 0466-36-7101

## DEC 大興電機株式会社

### 営業品目

- 高圧配電盤 ●監視盤
- 自動制御盤 ●計装盤
- 電気工事 ●設計、製作、施工

本社・工場  
〒243-02 神奈川県厚木市下川入 839-3  
TEL: 0462-45-7979  
FAX: 0462-45-3299

代表取締役 佐藤 勝俊 (昭36 電気科卒)

## 総合建設業



## 株式会社 小嶋建設

代表取締役 小嶋 次男 (昭38 建築科卒)

本社: 〒160 東京都新宿区西新宿4-14-4  
TEL: 03-3376-4151  
FAX: 03-3376-4158

各種試験機・部品・検定器の製造・販売・修理

各種試験機・下取り・更生品の販売

日本計量士会・日本海事協会の検定申請・立会

重力単位表示(kgf)の試験機から  
SI単位表示(N)の試験機への改造一式

株式会社 **日本試験機製作所**

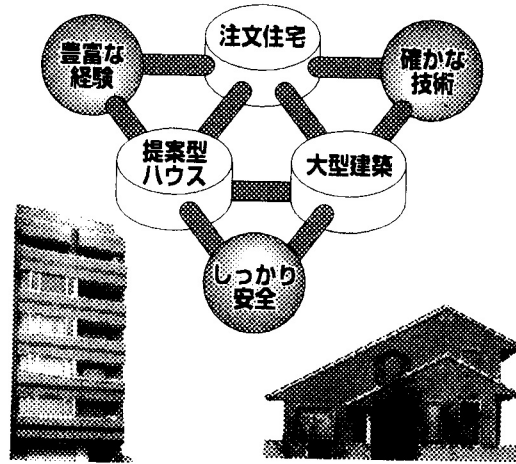
〒146 東京都東矢口3丁目29番地1号

TEL: 03-3732-1678

FAX: 03-3732-1684

齋藤 靖宏 横田 忠  
(昭32 機械科卒) (昭32 機械科卒)

注文住宅からビル建設まで



株式会社 **山崎工務店**

本社 〒330 埼玉県大宮市南中野561-3

TEL: 048-683-6524 FAX: 048-686-5435

山崎 金作 (昭37 土木科卒)

**MUSASHI**

情報・省力機器のメーカー & 総合商社

株式会社 **ムサシ**

〒104 東京都中央区銀座8-20-36

TEL: 03-3542-5611 (大代表)

取締役 志賀 英一 (昭31 工業科学科卒)

大平産業株式会社

営業品目

- オイレスベアリング
- ボール、ローラー、ベアリング
- ニードルベアリング
- ボールネジ
- ピローブロック
- 油空圧機器及び装置
- 二硫化モリブデン系潤滑材
- その他工業機器及び用品

オイレス工業株式会社 代理店

光洋精工株式会社 代理店

クイケン工業株式会社 代理店

日本ビコー・フロンティア株式会社 代理店

住友潤滑剤株式会社 代理店

本社 〒550 大阪市西区立売堀1-11-2

TEL: 06-541-0021(代) FAX: 06-531-5293

東京営業所 〒123 東京都台東区元浅草1-4-8 第2ウサギヤビル2F

TEL: 03-5828-1731 FAX: 03-5828-1735

東京営業所所長 太田 晋 (昭31 機械科卒)

こころを育む環境づくりをめざして

不動建設株式会社

部長 小野 鉄雄 (昭38 土木科卒)

課長 鷲塚 勝幸 (昭39 土木科卒)

東京本社: 〒110 東京都台東区台東1-2-1

TEL: 03-3837-6067

クリエイティブワークをトータルに  
サポートいたします。

プロダクトデザイナー  
代表取締役

船木 一美  
(昭48 機械科卒)

**TPO**

TOTAL PLANNING OFFICE

有限会社 ティー・ピー・オー

〒150 東京都渋谷区鶯谷町7-7 O.Hビル 301

TEL: 03-5489-5024

FAX: 03-3770-0077

# 編集後記

会報の制作も第三号になって、決まりごとのようなことが見え始めてきましたが、残念ながら進行の方は相変わらずギリギリの仕上がりという状況です。

今回は、お忙しい時間を割いて書いてくださった遠藤先輩の文章や、佐藤先輩のライフワークである(?)良寛さまについてのこと、そしてお馴染みの笹渕先輩エッセイと、前回とは違った意味で内容があったように感じています。

ただ、今回も一般の会員の方からの記事がいただけなかったことあり、そのことが残念に思えます。どんなことでも構いませんのでぜひ御協力いただきたいと思います。

できれば同窓会や母校に関連したことが望ましいとは思いますが、今回の佐藤先輩のようにご自分独自の趣味などのことをこの紙上で発表される形でも大歓迎です。

大きな出版社では、コンセプト重視で出版物を作っていくということがありますが、この会報は、東京秋工会の皆さんのものですから自由に考えていただいて結構です。

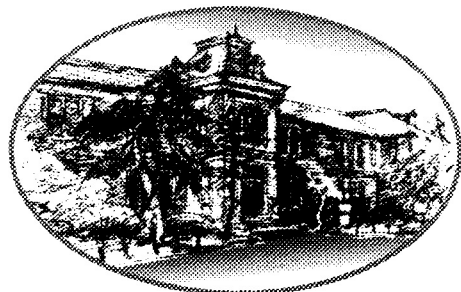
さて、今回も記事以外に賛助広告の部分で多数の方たちのご協力をいただきました。ここで改めましてお礼を申し上げます。また、次回につきましても宜しく願いいたします。

最後に、11月17日の東京秋工会総会には、ぜひ御出席いただきますようお願いをいたしまして終わりたいと思います。ありがとうございました。

尚、記事の件等で何かおありの場合は、裏面の連絡先にご一報頂けますようお願いいたします。

制作担当：松木 一美(48M)

東京秋工会会報  
**KANASA**  
金 砂



**VOL. 3**

1995年10月25日発行

---

発 行	東京秋工会本部・事務局 東京都港区虎ノ門1-18-1 第10森ビル8F 澤木萬國特許事務所内 電話：03-3501-0937
発行責任者	澤木 誠一 (東京秋工会会長／26E)
編集・制作	東京秋工会会報制作室 東京都渋谷区鶯谷町7-7 O.Hビル301 (有)ティーピーオー内 電話：03-5489-5024
制作管理責任者	三平 俊悦 (東京秋工会幹事長／39A)
編集・制作担当	船木 一美 (東京秋工会副幹事長／48M)

---